

# 最低賃金の引上げと



2014年 3月23日  
-61号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子  
<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

3月13日開かれた商工労働観光常任委員会で中小業者や労働者の声を代弁して提案も含めて発言しました。

## 県 ものづくり補助金の対象拡大を

県は新年度予算に製造業の付加価値一兆円をめざすとして中小企業トータルサポート補助金を予算化しました。私は、「県の設備資金投資の補助金は製造業に限定しているが、国の補助金はすでに、ものづくりに加え、商業・サービス業に拡大している。県補助金の対象も拡大できないか。消費税増税の影響を大きく受ける分野だ」と質問しました。

泉洋之中小企業振興課長は「限られた財源の中で、まずは対象を製造業に絞ってスタートする」と答えるにとどまりました。私は、さらに、中小企業全体の底上げが必要と主張し、「中小業者の中には融資より補助がありがたいとの声がある。今後、固定費(工場経費や機械リース代など)の助成

## 小規模企業重視のプランづくりを

この間の製造業の出荷額や付加価値額の落ち込みの要因について質問

清野一晴産業政策課長は「世界経済や大手の企業の影響を受けたことと消費が落ち込んだことが考えられる」と答えました。私は「外需や大手の影響を受けにくい経済、付加価値を地域外に流出させない循環経済の考え方が必要ではないか」「中小企業白書でも小規模企業の集積が地域経済の循環と密接な関係があると指摘している。小規模企業支援を反映した産業振興プランを作るべきと思うがどうか」と質問しました。

清野課長は、「県は中小企業振興条例と中小小規模企業支援戦略をつくり実施しているところ。国は、小規模基本法を準備しており、次期産業振興プランはそれらを含めて策定していく」と答弁しました。

## 「労働者の賃上げ」要請を

「増税を前に、政府自身が経済界に賃上げを要請している状況にあるが、県としても賃上げ要請ができないか。最低賃金の引き上げについては、山形県は低いほ

## ゆり子の視点 女性デーの集いに参加

3月8日は国際的に多くの国で女性デーをお祝いします。女性の地位向上に道を切り開いてきた先輩の女性たちに思いをの女性たちにも「女性は、労働法改悪反対の闘いは、女性や若者が自分たちのこととして掲げるべき課題だ」と感じています。私もともにスクラムを組みたい。

3月8日は国際的に多くの国で女性デーをお祝いします。女性の地位向上に道を切り開いてきた先輩の女性たちに思いをの女性たちにも「女性は、労働法改悪反対の闘いは、女性や若者が自分たちのこととして掲げるべき課題だ」と感じています。私もともにスクラムを組みたい。



本会議で反対討論を行う渡辺ゆり子県議

うだが、公労使の審議会を通じて決まる」と答弁するにとどまりました。私は、「賃上げ要請をやっている県もある。姿勢の問題だ。それでは県民生活は守れない」「賃上げすることは、地域経済活性化にもつながる。中小企業支援と一体に取り組んでいくべきだと主張しました。

## 福祉灯油含む 補正予算可決 農地への 大企業参入に反対

2月25日、本会議が開催され、2013年度の補正予算と関連議案が原案通り議決されました。補正予算には、福祉灯油実施市町村への助成が含まれており、全会一致で可決しました。

私は、消費税増税に関係する2議案と農業構造改革推進基金を設置する条例に反対しました。

反対討論では、農地中間管理機構を設置し、農地集積・集約をすすめる事業に対し、「大企業主体の農業生産法人への農地集中は農村・中山間地の荒廃を助長しかねない。農業委員会を排除する問題もある」と指摘し、「農業の継続ができるような価格と所得の両面で支援強化をすべきと結びました。

## 3月16日震災・原発避難者なんでも相談会に参加。 米沢で開催



相談に対応する渡辺県議

しあわせの原発ウォークが続いています。震災から3年たちました。冬期間は月1回だった行進を主にして再開されています。私もできるだけ参加しようと思っています。みなさんもどうぞ。